◎2022 年度事業計画

- 1) 居場所づくり事業
 - ①居場所

コロナが落ち着くまでは状況を見て活動時間を検討する。 しばらくは15時から19時までの活動とする。

- ②学習支援
 - ・月曜日から金曜日まで来たときに学習支援
 - ・夏休みは特別に募集して支援を行う
 - · 学習支援会議 2 回出席
- ③こども食堂つき
 - (a) コロナ禍では水曜 18 時~18 時 30 分までとする。
 - ア. ボッチャ
 - イ. 卓上カーリング
 - ウ. 卓球大会
 - 工. 花火(七井戸公園)
 - オ. 夏休み子ども料理教室
 - (b) さくらあったか食堂ネットワーク
 - 12 回会議出席
 - (c) 7月に市の広報に取材を受け広報に掲載される
- 2) 集いの場提供事業
 - ①手ぶらで書道
 - ②健康マージャン:コロナワクチン接種後に状況を見て開催時期を検討予定。
 - ③生き生きステーションしゃべり場さくら
 - (a) 事業目的

ひきこもりの方々をはじめとした「生きづらさ」を抱えている方々の「ほっとできる居場所つくり」を目的として、しゃべり場機能を備えたスペースづくりを目指す。

- (b) 具体的イメージ
 - ア. ひきこもりの方を含めた生きづらさを抱えた人たちが集っておしゃべりをする場所
 - イ、ひきこもりステーションに来なくても、メールで繋がることができる。
 - ウ. スタッフや参加者と一緒に何気ない会話を楽しむことが出来る。
 - エ、話すことが出来なくても、いるだけ(来てくれるだけ)で良い場所であること。
 - オ、何かをすることを強いられない場所であること。
 - カ. 本人が自分から求めれば支援につなげられる場所であること。
 - キ. 安全・安心を担保し、非難や中傷がされない場であること。
 - ク. 個人情報の秘匿を担保されていること。(ここで話したことは外に持ち出され

ないことを約束されていること)。

- (c) 事業の進め方
 - ア. 日時 毎月第三木曜日 18 時~20 時(最終受付時間 19 時 30 分)(同 第一土曜日 14 時~17 時)
 - イ. 場所 ほっとすペーすつき
 - ウ. スタッフ 古澤
- (d) 今年度に向けて
 - ・生き生きステーションをできるだけ定期的に開催する。
 - ・メンタルフレンドや、引きこもりサポーターとの連携も視野に入れておく。
- ④乙女の会:第1・第3木曜日開催予定。
- ⑤正会員への集いの場として提供:要望があれば随時提供していく。
- 3)訪問事業
 - ①メンタルフレンド
 - (a) 事業目的

主に18歳までの児童・学童期の不登校及び、引きこもりの方々を対象として、 メンタルフレンドを派遣することで、外部の人間との関わりが断たれることなく 人間関係を形成していく機会をえていくこと目的とする。

- (b) 具体的イメージ
 - ア. スタッフやボランティアが緊密に連絡をとりながら利用者の最善の利益を考える。
 - イ. ボランティアが一人で悩みを抱えることなく、SV を受けられる環境であること。
 - ウ. 利用者が何かを達成するための支援ではなく、人とつながることの楽しさだけがあればよい。
- (c) 事業の進め方
 - ア、日時 利用者とコーディネーターが打ち合わせをおこない決定する。
 - イ. 場所 利用者宅。あるいはほっとすペーすつき
 - ウ. スタッフ 理事古澤 コーディネーター山口
- (d) 2022年度ボランティア養成・支援計画
 - ア. 養成講座
 - イ. 交流会 SV
 - ウ. 傾聴講座
 - ※利用者が出てくる場所として、つきの開催する「こども食堂」「学習支援」等活用し、つきの他の事業との連携も視野にいれておく。
- ②ホームスタート・さくら

訪問事業

(a) 訪問について

- ア. 長引くコロナ禍、子育でに不安を抱える親御さんに対し、市保健師さん、家庭 児童相談班とも連携し、早期にこのようなケースを発見、訪問に繋がれるよう 努めます。
- イ. 佐倉市 こども支援部 こども家庭課 養育サポーター派遣事業業務委託を継続して受
- (b) オーガナイザーに関すること
 - ア. ホームスタート・ジャパン 総会、研修への参加
 - イ. 千葉県3スキームの情報交換の実施
- (c) ホームビジターに関すること
 - ア、ホームビジター養成講座の開催
 - イ、スキルアップ講座の充実
 - ウ. 交流会の開催
 - エ、ほっとすペーす・さくらへの参加
 - オ、他の団体の保育ボランティアの協力
- (d) 周知活動に関すること
 - ア. リーフレットの内容見直し
 - イ. 佐倉市 新生児訪問セットにリーフレット・手作り栞同封
 - ウ. 佐倉市 健康管理センター等にリーフレット設置
 - エ、リーフレット配置場所見直し
 - オ. 地域新聞等による広報周知活動
 - カ. SNS の活用
 - キ. 佐倉市 健康推進部 母子保健課 主催 "もぐもぐ教室"、"3歳児検診" 保育ボランティアとして協力
 - →4年度もボランティア受け入れを中止する旨連絡あり
 - ク. NEW 佐倉市 健康推進部 母子保健課主催 新事業 "ほめ☆そだ教室" (月一) 保育ボランティアとして協力

|居場所づくり事業| 新事業:居場所型子育て支援 ほっとすペーす・さくら

(a) 目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下、子育て中の親子の孤独や不安等に対して支援するため、地域において居場所型の子育て支援の複合的拠点として、妊娠・出産・育児等に附随する子ども・子育てに関する様々な地域課題等を解決し、子育て家庭の健やかな育ちを支援することを目的に居場所支援を実施する。

このことによって、認定 NPO 法人ほっとすペーす・つきだからこそ実施可能となる、支援のすき間で孤立しがちな親子に対し、多様な親のニーズに応える新しい協働のカタチを地域全体で子どもの育ちと子育てを支え合える循環型の未来志向のまちづくりにつなげる。

(b) 内容

家庭訪問型子育て支援ホームスタート・さくら(以下、ホームスタート)における 課題として、家庭に訪問することに対する敷居が高いとの意見があった。このため、 外出しづらい、頼れる人が身近にいないといったホームスタートの対象となりえ る親子に対し、まずは身近な場所として、居場所型子育て支援ほっとすペーす・さ くらを利用することによって、ホームスタートへの支援につなげることと過去に ホームスタートを利用した家庭のその後の応援を目的に、ホームビジターの参加 のもと下記の2つの場を実施する。

ア. 主たる対象

ホームスタートを利用している、していた利用を考えている親子

イ. 内容

- ・ママパパのくつろぎ場 おしゃべり、気分転換、実用講座(例えば園バック作成、こどものおもちゃづくり等々)
- ・地域の人とふれあう場 ビジターさん、地域の人との交流の場

ウ. 実施日時

原則毎週月・水・金曜日の3日間(祝祭日を除く)9時~12時の3時間

エ、その他

利用にあたってはお気持ち箱を設置。水分補給のための飲み物の持ち込み可。 赤ちゃんミルク用お湯は常備。

③ ひきこもりサポーター訪問

佐倉市の委託を受けて、佐倉市在住のひきこもりの方の自立及び社会参加の促進を図るために訪問支援等を行う。研修を受けたサポーターは月1回程度、自宅を訪問し、利用者が社会参加等活動範囲の拡大を目指せるような支援を目指します。

- 4) 学習会、福祉職交流事業
 - 傾聴研修実施予定
- 5) その他、生活課題を抱える人への相談支援事業 居場所にて傾聴で対応し、関係機関との情報共有を図る
- 6) 運営
 - ・メルマガを年4回発行予定
 - ・季節ごとの広報紙を作成予定
- 7) 年間予定表

- 4月・理事会
- 5月・理事会・こども食堂ミーティング(調理実習)・総会
- 6月・理事会・HS OG 養成コース研修
- 7月・理事会・こども食堂ミーティング・ひきこもり支援研修
- 8月・理事会
- 9月・理事会・こども食堂ミーティング・メンタルフレンド養成研修
- 10月・理事会 ・HS ビジター養成研修
- 11月・理事会 ・こども食堂ミーティング(調理実習) ・HS ビジター養成研修
- 12月・理事会 ・ひきこもりサポーター養成研修
 - 1月・理事会・こども食堂ミーティング
 - 2月・理事会
 - 3月・理事会・こども食堂ミーティング
 - ※毎週火曜日に事務局ミーティングを行う。居場所ミーティングは月に1回以上、随時行う。
- 8)役員の変更に関して
 - ・2022年3月31日 谷野宏輝副理事長 辞任 ⇒ 2022年4月1日 奥田朋子理事 就任
 - ・2022年3月31日 高野富佐代 理事 辞任 ⇒ 2022年4月1日 長島幸寛理事 就任